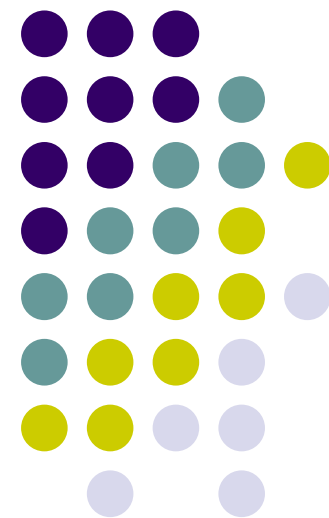


NPO法人三千里鐵道 經歷書



<http://www.sanzenri.gr.jp/>



南北共同宣言を受けて



- 2000年 6月15日 南北共同宣言
- 2000年 7月15日 三千里鐵道準備委員会発足
- 2000年 9月30日 三千里鐵道発足会

- 2001年 6月 6日 NPO法人三千里鐵道設立
- 2001年 6月17日 南北共同宣言1周年記念集会 開催
- 2001年10月27日 NPO法人三千里鐵道発足式

- 2002年 3月20日 第一次南北鉄道連結資金伝達(南側)
- 2002年 6月16日 南北共同宣言2周年記念集会 開催
- 2002年12月 5日 第一次南北鉄道連結資金伝達(北側)

- 2003年 3月 1日 第一次募金伝達 訪朝報告集会 開催
- 2003年 6月 7日 南北共同宣言3周年記念集会 開催

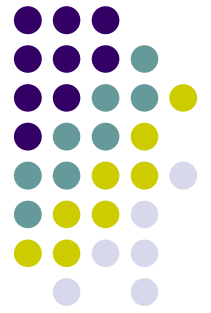
- 2004年 6月15日 “南北共同宣言4周年記念わが民族大会“に参加(南側)
- 2004年 6月12日 南北共同宣言4周年記念集会 開催

- 2005年06月12日 南北共同宣言5周年記念集会 開催

- 2006年04月21日 ソウルより陸路ケソンへ。苗木支援事業に参画



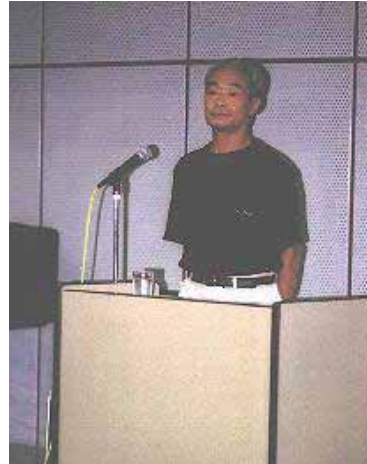
三千里鐵道発足会 2000年9月30日



代表: 都相太



副代表: 姜春根



副代表: 磯貝治良



副代表: 鄭載宇

趣旨文

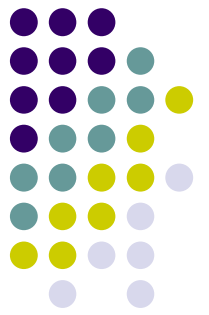
2000年6月15日に発表された南北共同宣言は、祖国の同胞のみならず約600万人の海外同胞にも、大きな驚きと喜びとともに、未来に対する希望を与えました。

私たちは、海外同胞がああ南北共同宣言に応える具体的な行動として、非武装地帯の鉄道建設を海外同胞の手で成し遂げようと考えています。

また、祖国の南北の分断は、単に我が民族のみの問題ではなく、東西冷戦の象徴であり、世界で唯一残された分断国家であるがゆえに、全世界の問題であるということがいえます。

このような観点から、我が祖国の統一と平和を願う全世界の人々と共に手を結び、この事業を成し遂げたいと提案するものです。

南北共同宣言1周年記念集会 2001年6月17日



ゲスト



左:金 權泰
(新千年民主党 最高委員民主化運動青年連合初代議長)



中:李 根燁
(韓国 - ヴェトナム社会人文科学研究所院長)



右:李 富榮
(ハンナラ党 副総裁全民連常任議長)



左:李 在禎
(新千年民主党政策委員会議長)



中:任 鐘哲
(新千年民主党 院内総務全大協議長)



右:劉 元琥
(統一マジ理事)



左:眞 寬師
(僧侶)



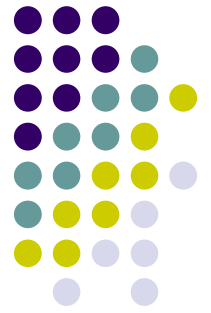
中:朴 容吉 女子
(故文益煥牧師夫人 統一マジ会長)



右:近藤 昭一
(衆議院議員)



第一次南北鉄道連結資金伝達 2002年3月20日

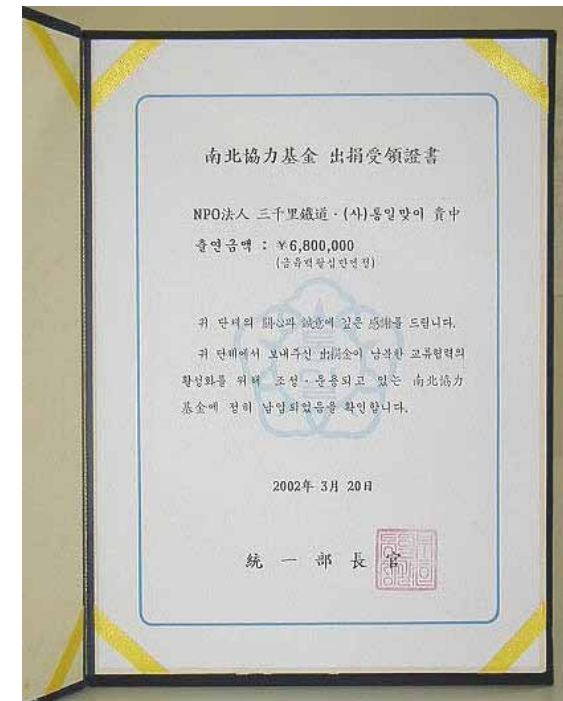


統一部長官に、680万円伝達。
(非武装地帯南側線路1km分の金額)

左より 鄭載宇副理事長、劉元琥統一マジ理事、李在禎国会議員
(統一マジ理事長)、都相太理事長、近藤昭一国会議員、任鐘哲国会議員、丁世鉉統一部長官

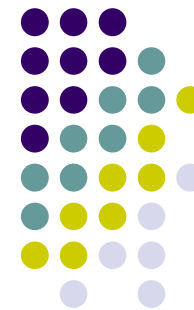


JSAおよび非武装地帯見学



南北協力基金 受領証書

南北共同宣言2周年記念集会 2002年6月16日



南北共同宣言2周年記念集会



李時雨(イ・シウ)氏

『今回のJSAセミナーツアーに同行し、道中のバスの中で非武装地帯に関する講義をしてくださった方。その内容と人柄に、参加者皆が魅了された。これまでに『非武装地帯での思索』『統一祈願-非武装地帯展』等の個人展に加え、多彩な活動を展開。

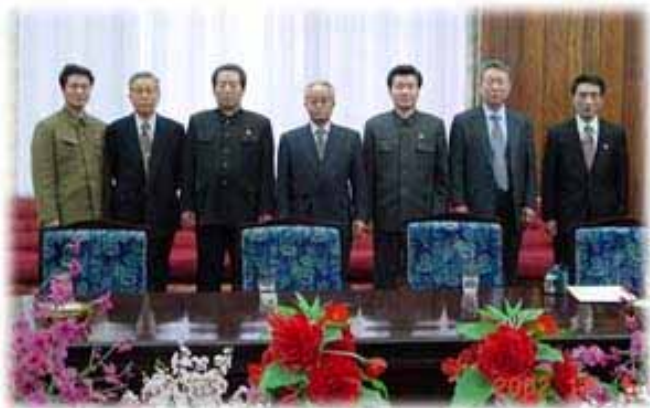


林秀卿(イム・スギョン)氏

1989年、平壤で開催された第13回世界青年学生祭典に南朝鮮の「全大協」(全国大学生代表者協議会)の代表として参加。その後、白頭山から板門店まで平和大行進を行い、民間人として初めて軍事境界線を越えて帰郷。3年4カ月を獄中で過ごした。



第一次南北鉄道連結資金伝達 2002年12月5日



12月5日に南北鉄道連結資金として非武装地帯の線路1Km分として680万円を、共和国内閣に伝達しました。三千里鐵道側は理事長の都相太と賛助会員の金在根氏の2人が行き、朝鮮総聯から愛知県本部李都相副委員長および李博之国際部長が同行してくれました。

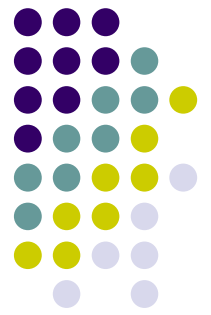
伝達式における共和国側出席者は、内閣事務局副部長ペク・リョンチョル、鉄道省副局長キム・テギル、貿易銀行副総裁キム・ミョンソツ、労働党中央委員会総聯指導課指導員シン・ドンスの4氏でした。



写真にある分断点は、北側の工事着工式を挙行了したところです。

鉄道路盤は完成し、後は枕木、線路の敷設を残しています。韓国製の大型ダンプが行き来し、非武装地帯の鉄道、道路工事が進捗していることを実感できました。

南北共同宣言3周年記念集会 2003年6月7日



『語ろう！在日の現在(いま)と未来(あした)』



2000年6月の南北首脳の劇的な出会いと南北共同宣言は、半世紀以上にわたる南北の厳しい対立を強いられた『分断時代』の“終わりの始まり”を予感させ、私たち日本に住む在日同胞や朝鮮の平和統一を願う日本市民は、東北アジアの平和の時代がやっとやって来るのだと、期待に胸膨らませました。



しかし、2001年1月のブッシュ政権誕生とともに、世界は一変しました。9.11テロ事件の発生、ブッシュによる『悪の枢軸』発言、アフガニスタン軍事侵攻、イラク侵略戦争と、世界はきわめて危険な時代に突入してしまいました。そして、朝鮮半島が再び戦火にみまわれることになるのではないかと懸念が高まっています。

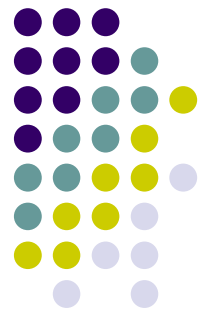


また、昨年9月17日の小泉訪朝とピョンヤン宣言によって、やっと日朝国交樹立の歩みが始まったと思いきや、拉致問題によって、完全に暗礁に乗り上げてしまったばかりか、反北朝鮮プロパガンダとも言えるべき報道が連日繰り返されています。



NPO法人三千里鐵道は、毎年6月に記念集会を開催してきましたが、このような状況を踏まえて 受けて今年は『語ろう！在日の現在と未来！』と題した、市民討論会を提案することとしました。転換期といわれて久しい在日社会にあって、この困難で不安な時代をいかに生きていこうとするのか、思いのたけを語りあいたいと思います。

“南北共同宣言4周年記念わが民族大会“に参加 2004年6月15日

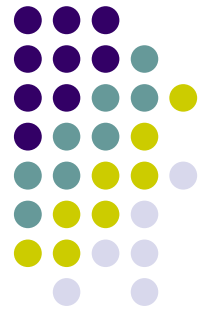


6.15南北共同宣言四周年記念わが民族大会は6月14日から16日まで仁川市で開かれた。
この大会には初の海外代表が招かれた。日本からは三千里鐵道、民団、総聯、韓統連、在日コリアン青年連合、そのほか中国・アメリカ・ヨーロッパ等から計57人。北側からも103人が参加した。
15日午前、仁川文鶴競技場では1,300人が参加して民族大会が挙行された。
この大会で、北側代表金ジョンホ氏は「全民族が団結して自主、平和統一へ進もう」と述べ、南側常任大会長の崔キサン主教は「4年間に6.15宣言が切りひらいた民族大団結の努力は、われわれの取り巻く環境を変えている」と述べた。
また、李ヘンウ自主・民主・統一米州連合議長は「6.15共同宣言を实践する道は階級や老若男女、居住地域を超えた民族大団結の道」と挨拶した。

この大会で採択された「民族大団結宣言文」の要旨は以下の通りである。

- 一、すべての同胞は6.15共同宣言の基本精神である民族自主の原則に基づいて団結するものである。
- 二、われわれは統一のための道で、理念と制度の差異を乗り越えて、団結するものである。
- 三、われわれは民族の生存を守り祖国の平和を実現するための道で、いつでも団結するものである。

南北共同宣言4周年記念集会 2004年6月12日



南北共同宣言4周年記念講演集会

『市民革命に勝利した私たち』～韓国総選挙の結果と今後の南北関係について～



李華泳氏(ヨルリンウリ党国会議員)

成均館大学 社会学科卒

盧武鉉大統領候補 中央選対委業務調整局長

ヨルリン ウリ党 創党企画チーム長

社団法人 東北アジア平和連帯 企画編集委員

ヨルリン ウリ党 首都圏均等発展企画団 副団長



高鎮和氏(ハンナラ党国会議員)

成均館大学 社会学科卒 総学生会長

延世大学院 政治学博士課程

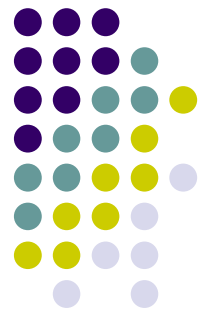
民主改革政治モイム青年委員会 委員長

ハンナラ党対外協力委員会 副委員長

グローバル韓国青年ネットワーク『韓国と世界』代表



南北共同宣言5周年記念集会 2005年6月12日



支持団体:

NPO法人三千里鐵道、NPO法人コリアンネットあいち、在日大韓基督教会名古屋教会、祖国平和統一協會東海地方協議会、ノリパン、在日本朝鮮人總聯合会愛知県本部、在日韓国民主統一連合東海本部、在日本朝鮮青年同盟愛知県本部、在日韓国青年同盟愛知県本部、在日本朝鮮愛知県商工会、在日韓国青年同盟三重県本部、在日本朝鮮愛知県青年商工会、在日韓国民主女性会愛知県本部、在日本朝鮮民主女性同盟愛知県本部、在日韓国人学生協議会東海、在日朝鮮留学生同盟東海地方本部 以上16団体

後援: 6.15共同宣言実践のための南北(北南)海外共同行事日本地域準備委員会

- 特別記念講演 - < 6.15共同宣言以降の統一情勢と6.15共同委員会結成の意義と今後の展望 >



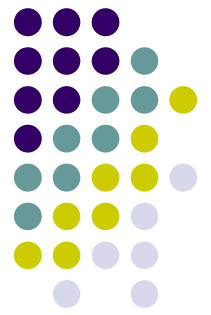
韓相烈 牧師 · 6.15共同宣言実践のための南・北・海外共同行事南側準備委員会 共同代表、統一連帯代表議長

1950年12月17日 全羅北道全州生まれ
全州高、全北大農化学科、同大学経営大学院、韓神大卒
1972年 全北大総学生会長
1975年 全北基督青年協議会初代会長
1987年 全北民主化運動協議会共同議長
1990年 全国民族民主運動連合共同議長
1991年 公安統治終息と民主政府樹立のための国民会議
常任共同代表
1992年より民主主義民族統一全国連合共同議長、
全州告白教会牧師(現在)

講演キーワード:

「もっと広く! もっと深く! もっと高く! もっと長く! もっと明るく!」

苗木支援事業(ソウル ケソン) 2006年4月21日



1. 行事名: 苗木支援及び南北共同植樹行事
2. 日 時: 2006.4.21(金)
3. 場 所: 開 城(ケソン)
4. 訪北規模: 100人

5 行事内容

- 1) 苗木支援 (苗木 18万本, 植栽器具等)
- 2) 南北共同植樹及び開城地域参観
(開城歴史遺跡地, 開城工団など)



6. 詳細日程

- 07:40 光化門出発
- 09:10 トラサン CIQ 到着
- 09:30 MDL 通過
- 10:30 植樹行事
- 12:30 昼食(チャナム山旅館)
- 13:30 ソンジュッキョ観覧
- 14:00 高麗博物館(または王建陵) 観覧
- 15:00 開城工団見学
- 16:30 北側CIQ 到着
- 17:00 MDL 通過
- 17:20 トラサン CIQ 出発
- 19:00 光化門到着

7. 詳細支援内容

- 1) 苗木(五葉松など約 18万本)
- 2) 関連物品(肥料及び植栽器具)

